

支援物資をトラックに積み込む総社市職員

# 職員と看護師派遣



## 総社市とAMD A 支援物資も送る

広島市の大規模土砂災害を受け、総社市は21日、被災地連携支援協定を結んで

いる国際医療ボランティアAMD A（本部・岡山市北区伊福町）とともに、市職

員4人と看護師1人を現地に派遣、支援物資も送った。5人は被災状況や支援ニーズを調べた上で、救護などの活動に当たることも想定している。物資は5000リットル入りペットボトルのお茶とスポーツドリンク各1200本、カップ麺700食、栄養ドリンク200本を届ける。

この日午前、市役所前で片岡聡一市長から「危険な任務になるかもしれないが、一人でも多くの人に手を差し伸べてほしい」と激励を受け、物資を積んだ2トトラックとワゴン車に分乗して出発した。

同市は昨年12月、大規模災害の被災地支援条例を施行。今回は初の適用例として、市が確保していた予算から費用を負担する。

（森元俊一朗）